

第30回JOCジュニアオリンピックカップエントリー方法 手順指示書(加盟団体用)

今大会は従来通り、日本水泳連盟競技者登録管理システム<SWMSYS>による登録団体からのエントリーと共に、日本水泳連盟競技者一括登録管理システム<SCMSYS>を使用した各都道府県水泳連盟による、一括集計エントリーを導入いたします。つきましては各都道府県水泳連盟担当者の皆様には御面倒をおかけしますが、下記手順を熟読の上、エントリー受付および集計手続きを完了されますよう御協力宜しくお願い致します。以下、Windows版SCMSYSによる、手順指示書です。

今回のエントリーでは、一部マイクロソフトエクセルファイルでの提出資料がございます。  
各加盟団体は、登録団体申込受付前に、あらかじめ日本水泳連盟公式ホームページより、【加盟団体申込集計表.xls】ファイルをダウンロードしておいてください。  
各加盟団体のエントリー情報を同ファイルに入力後、との数字SCMSYS連携ファイルのフロッピーディスクとは別のフロッピーディスクに保存し、JO実行委員会へ提出をしてください。

取込の際、SWMSYS内のデータが、数字として画面に表示されますので、各登録団体から提出された書類と数字が一致しているか必ず確認して下さい。

**{ 確認 }**

- ・チャンピオンシップ区分へ出場する登録団体が皆無の加盟団体  
提出フロッピーディスクは1枚となります。
- ・10才以下、11~12才、13~14才年齢区分へ出場する登録団体が皆無の加盟団体  
提出フロッピーディスクは1枚となります。
- ・10才以下、11~12才、13~14才年齢区分、及びチャンピオンシップ区分双方にエントリーする登録団体が存在する加盟団体  
提出フロッピーディスクは、それぞれ1枚、計2枚となります。
- ・日本水泳連盟公式ホームページ ([www.swim.or.jp](http://www.swim.or.jp)) より、最新のSCMSYSをダウンロードし、インストールしてから、作業を行って下さい。

尚、提出されたFDは原則返却を致しません。(財)日本水泳連盟JO実行委員会が責任を持って破棄させて頂きます。返却希望の加盟団体は、大会期間中に大会実行委員会本部室まで取りに来てください。

～事前準備～

1. 必要がある場合は、バックアップを取ってください。  
『メイン画面』『システム』を選択。『データ保存』項目のFDドライブ・『全て』が選択されていることを確認し、バックアップ用FDをドライブに挿入します。『実行』をクリックすると、バックアップデータが、FDへ反映されます。
2. 次に、『データ初期化』項目が、『全て』になっていることを確認し、『実行』をクリックします。これで、SCMSYS内のデータが全てクリアされました。JOエントリーの全ての作業が終了しましたら、上記工程1で保存したバックアップデータを『データ復元』で復帰させて下さい。
3. 10才以下、11～12才、13～14才年齢区分のSCMSYS連携フロッピーディスクを作成します。

～データ取り込み～

1. 各登録団体から提出されたフロッピーディスクのうち、ラベルに「年齢区分別エントリー用FD」と記載されたフロッピーディスクを全クラブ分用意します。
2. 『メイン画面』中、【データ受付・SWMSYS】項目下『エントリー』をクリックします。
3. フロッピードライブを指定し、各登録団体より提出されたSWMSYSエントリーフロッピーディスクをドライブに順次挿入。『実行』をクリックし、情報を取り込みます。
4. 全てのクラブの取り込みが終了しましたら、『終了』をクリックし、エントリー画面を閉じます。
5. 『メイン画面』『団体』タブをクリックし、すべての団体が登録されているか、確認して下さい。

～提出用フロッピーディスクの作成

1. 『メイン画面』中、【データ作成・システム連携】下、『SCMSYSデータ』ボタンをクリックします。
2. 提出用FDをドライブに挿入し、FDドライブを指定します。準備が出来ましたら、右下『実行』ボタンをクリックします。
3. 団体数・競技者数・リレーエントリー数が表示されますので、確認して下さい。
4. SCMSYSを終了し、『マイコンピュータ』から『3.5インチFD』を選択します。FD内に、「Scmdt.csv」「ScmSwimmerdt.csv」「ScmRelay.csv(リレー参加登録団体がある場合のみ)」の2つないし3つのファイルが存在することを確認して下さい。

『リザルト連携データ』を間違えて提出される団体が多いので、注意して下さい。

以上で取り込み作業は完了です。

## 第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季大会

最後にフロッピーディスクにラベルを貼ります。ラベルには、下記を参考に情報を記入して下さい。

大会名 加盟団体番号 都道府県名  年齢区分別 SCMSYS 連携 F D ( <u>重要:必ず記入して下さい</u> )
--

例

第30回JO春季 13 東京都  年齢区分別 SCMSYS 連携 F D
---

チャンピオンシップ区分の SCMSYS 連携フロッピーディスクを作成します。

～データ取り込み・提出用 F D の作成～

1. 上記、【～事前準備～】を参考に、SCMSYS 内のデータを、必ず全てクリアしてから作業を行って下さい。
2. 年齢区分別の作業を参考に、提出用 F D を作成して下さい。

最後にフロッピーディスクにラベルを貼ります。ラベルには、下記を参考に情報を記入して下さい。

大会名 加盟団体番号 都道府県名  チャンピオンシップ SCMSYS 連携 F D ( <u>重要:必ず記入して下さい</u> )
--

例

第30回JO春季 13 東京都  チャンピオンシップ SCMSYS 連携 F D
---

**～重要～ 年齢区分別・チャンピオンシップと両方のデータを1つのSCMSYSに混在させないようして下さい。**

エントリー処理に伴う問い合わせは、各加盟団体（都道府県水泳連盟）の情報システム委員に確認して下さい。

## 【重要事項】

SCMSYSを利用して、エントリー情報を取り込む前に、

**必ずSCMSYS内部に残っているデータをすべて初期化してから**

作業をはじめてください。

SCMSYSを利用して、各登録団体より提出されたエントリーフロッピーディスクを取込の際、

**SWMSYS内のデータが、数字として画面に表示されます**

ので、各登録団体から提出された書類と数字が一致しているか必ず確認して下さい。

登録団体から提出されたフロッピーディスクのラベルを良く確認し、

**年齢区分別用及びチャンピオンシップ用のエントリーを同一SCMSYSに混在しないよう**

最新の注意を払ってください。データが混在した場合、システム上、受付出来ず、プログラムに反映されない場合がございますのでご注意下さい。

提出するフロッピーディスクは、

**「SCMSYS連携データ」**

となります。**『リザルト連携データ』を間違えて提出される団体が多い**ので、注意して下さい。尚、誤って提出された場合、第1次エントリー情報インターネット公開の際に、加盟団体すべての情報が反映されない場合がございますのでご了承下さい。

## 【提出資料の確認】

1. 提出用 SCMSYS 連携フロッピーディスク	必要枚数...最高 2 枚
2. 登録団体大会申込書	2 枚
3. 【加盟団体申込集計表.xls】が保存されているフロッピーディスク	1 枚
4. 加盟団体申込集計表印刷	1 部
5. 付添票申し込み申請書	全提出団体分
6. SWMSYS 競技会申込 (エントリーTIME) 一覧表	全提出団体分
7. 優秀クラブ表彰申請書	全提出団体分
8. 保護者の同意書 (中学生以下)	全提出団体分
9. 同封書類確認書	必ず会長印を押印の上 1 枚

申込金は、すべて振込となりました。

**銀行振込**

**三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 普通 4444039**

**郵便振替**

**(東京 00130-1-5178)**

必ず加盟団体申込集計表で金額を確認してお振り込み下さい。

**登録団体より提出された SWMSYS エントリーフロッピーディスクは同封の必要はありません**